

(別紙5)

整理番号 2022P-125  
補助事業名 2022年度 実践的研究を通じた人間力育成支援活動 補助事業  
補助事業者名 袖ヶ浦市立長浦中学校

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

- コミュニケーショントレーニングを全校で行い、「聞く」「話す」「書く」スキルを身につけさせる。
- 身につけたスキルを授業や地域のスポーツ少年団との交流に生かす。

(2) 実施内容

<https://www.fureai-cloud.jp/sodegaura-nagaura-j/home/index/2022jka> (URL)

① 毎週金曜日に朝10分間のコミュニケーショントレーニングを実施

人とのコミュニケーションを円滑に進めるためのトレーニングを全校で行いました。4月から2月までの合計29回実施をしました。



② コミュニケーショントレーニングを活用した学級活動の実施（年間3回実施）

kj法やまんだらシート、ウェビングマップで自分の思考や意見を整理することを学級活動でおこないました。



(別紙5)

③ 部活動と地域スポーツ少年団との交流（野球、バスケットボール）

8月9日に野球部、10月10日にバスケ部の体験会をおこないました。中学生はコミトレで学んだ相手の気持ちを理解して話すこと、自分の伝えたいことを具体的に話すことなどを心がけることができました。



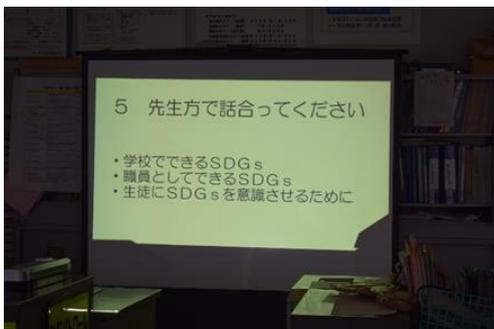
④ 話し合い活動を取り入れた授業の実施（授業研究会を2回）

7月8日に全職員による授業研究会を、11月7日に保健体育科で授業研究を行いました。小集団による話し合い活動やkj法やまんだらシート、ウェビングマップなどの技法を活用して授業を行いました。



⑤ コミュニケーショントレーニングの教員研修（年間8回）

生徒役となったコミュニケーショントレーニングの体験や実際に使用する課題づくり、kj法やまんだらシート活用方法の体験などを研修しました。



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

- コミュニケーショントレーニングの活動を通して、聞く、話す、書くスキルを身につけ、話し合いの能力を向上させることで、新学習指導要領が求める「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる。
- コミュニケーショントレーニングの手法を授業に用いることで、教師は自らの授業改善へつなげることができる。

3 補助事業に係わる成果物

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 袖ヶ浦市立長浦中学校（ソデガウラシリツナガウラチュウガッコウ）

住 所： 〒299-0242

千葉県袖ヶ浦市久保田129

代 表 者： 校長 庄司 光利（ショウジ ミットシ）

担 当 者 名： 教頭 佐久間 康裕（サクマ ヤスヒロ）

電 話 番 号： 0438-62-2834

F A X： 0438-62-4248

E - m a i l： nuc20200@sodegaura.ed.jp

U R L： <https://www.fureai-cloud.jp/sodegaura-nagaura-j/>